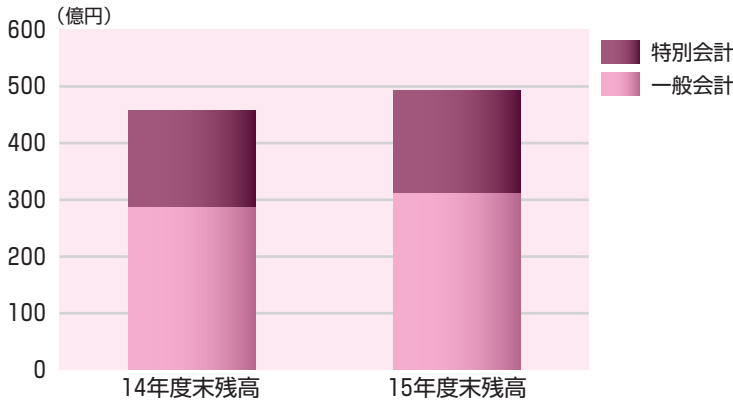


公債費

公債費は、市債として借り入れたお金（市の借金）の償還費です。正確には、年間の財務運営のために借り入れた一時借入金の子金が約600万円含まれているので、財政の指標として重要な長期債務の元金と利子の償還費は約28億5千万円で、前年度に比べて、1億4千万円ほど増えています。

市債残高も増えています。単純に考えると、1年間で新たに借り入れた金額が返した元金よりも多いと残

【グラフ5】市債（元金）の状況



【表5】市債の状況（元金）

区分	14年度末残高	15年度中償還額	15年度中借入額	15年度末残高
一般会計	287億1,462万円	21億2,387万円	45億8,800万円	311億7,875万円
学校給食事業特別会計	5,207万円	677万円	0万円	4,530万円
公共下水道事業特別会計	168億5,138万円	4億5,036万円	15億9,750万円	179億9,852万円
簡易水道事業特別会計	6,386万円	1,557万円	1,550万円	6,379万円
合計	456億8,193万円	25億9,657万円	62億100万円	492億8,636万円

高も増え続けます。【表5】と【グラフ5】のとおり、平成15年度末の一般会計の市債残高は約312億円、4つの会計の合計では約493億円の借入残高になっています。

交付税と公債費

市債として借り入れたお金は返していかなければなりません。一部または全部が交付税で市に交付される市債があります。臨時財政対策債や財源対策債、公共下水道事業の市債がこれに当たります。

また、新市民プールの財源として借り入れをした地域総合整備事業債やクリンクルセンターの建設事業債もこれに該当します。

事業を行うタイミングとして、このような市債が活用できるかどうか財政的には大きな意味があります。15年度の一般会計の長期債元利償還

【表6】市有財産の内訳（平成15年度末現在）

区分	面積・金額	
土地	596万500㎡	
建物	28万4,500㎡	
基金など	現金	40億860万円
	土地	10万8,900㎡
その他	債権など	10億257万円
	土地	6万4,300㎡

額28億5千万円のうち、交付税で入ってきているのは10億7千万円で約38割となります。

基金（貯金）

市の貯金は、基金という形で保管しています（6ページの【表7】参照）。このうち、特定目的基金とは、ある目的のために積み立てしている基金で、その目的以外には使えません。

減債基金は公債費の償還のための基金で、介護給付費準備基金は介護保険料を設定するときに高くなり過ぎないように調整するときに使う基金です。

また、各年度の財源調整や災害などの緊急を要する財政需要のための財政調整基金が7億8千万円ほどあります。

なお、平成16年度では、この財政調整基金のほとんどを取り崩すなど、40億円ある基金が27億円にまで減少する見込みとなっており、財政運営をするうえで、ますます厳しい状況が予想されます。

